

# 2023 年度水素・燃料電池材料研究会講座

<趣旨> イオン伝導材料が鍵となる次世代エネルギーデバイス

イオン伝導性材料は、二次電池、燃料電池、電解セル、センサーなど電気化学デバイスの電解質として中心的な役割を担っている。一般的な液体電解質に加えて、無機化合物、高分子薄膜などデバイスの特徴に合わせた様々なイオン伝導の固体材料も数多く開発されている。本講座では、水電解セル(水素製造)、二酸化炭素電解還元セル、全固体二次電池などグリーントランスフォーメーションを支える次世代のエネルギーデバイスに焦点を絞り、本分野でご活躍の産官学の講師の方々に、特にイオン伝導材料の観点から最新の話題をご紹介します。

**主催** 高分子学会 水素・燃料電池材料研究会

**後援** 国立研究開発法人産業技術総合研究所

**協賛** 日本化学会、応用物理学会、化学工学会、石油学会、電気学会、電気化学会、日本エネルギー学会、日本分析化学会、水素エネルギー協会(予定)

**日時** 2023年10月20日(金) 10:00~17:15

**会場** 産業技術総合研究所 臨海副都心センター **およびオンライン(ハイブリッド開催)**

## プログラム

<10:00~10:45>

1) 旭化成におけるアルカリ水電解システムの開発

(旭化成) 渡邊 章

<10:45~11:45>

2) アニオン交換膜水電解装置の開発

(産総研) 伊藤 博

(昼食)

<13:00~14:00>

3) 水素社会とアニオン交換膜型水電解の展開

(東京工業大学) 山口 猛央

<14:00~15:00>

4) 固体高分子電解質形電解セルを用いた CO<sub>2</sub> の資源化技術の開発

(出光興産) Qingxin Jia

<15:15~16:15>

5) 柔軟性イオン結晶を用いた Li イオン伝導性フレキシブル固体電解質の開発

(上智大学) 藤田 正博

<16:15~17:15>

6) ヒドライドイオン導電性材料の研究動向とデバイス応用に向けた取り組み

(理化学研究所) 小林 玄器

## 参加要領

1) 定員 100名

2) 参加費 ①企業 14,300円 ②大学・官公庁 5,500円 ③学生 2,200円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シルバー会員 2,200円

⑤水素・燃料電池材料研究会メンバー (a)企業 11,000円 (b)大学・官公庁 4,400円

3) 申込方法 高分子学会ホームページ(<https://member.spsj.or.jp/event/>)からお申込みください。

請求書は受理通知の URL をクリックしてください。

参加費は、お振込みをお願いいたします。

4) 振込先 銀行振込<三菱 UFJ 銀行 銀座支店(普) 1126232 名義 シャ)コウブンシガツカイ>

郵便振替<00110-6-111688 名義 シャ)コウブンシガツカイ>

5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問合せ先 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル

公益社団法人 高分子学会 2023 年度水素・燃料電池材料研究会係

TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737



行事参加申込 QR コード

<http://www.spsj.or.jp/entry/>